



ひまわり通信

No.00718. 2025.5.22(木)

健康寿命から貢献寿命へ

「ニンジンから宇宙へ」赤峰 勝人 著 1993.10.10 初版発行

夢の話

自然大地にしっかり足をつけて働いている人たちに、「二十年後の日本はどうなると思いますか」と尋ねてみると、みんながみんな、「今のままでは国は滅びる」と口を揃えて答えます。

約70兆円の年間の国家予算の中で、医療費が何と平成4年は23兆円にもなろうとしています。この一点を見ても、一億総病人の日もそう遠い話ではないと、寒々としたものを感じてしまいます。(ちなみに、令和5年度医療費総額は、47.3兆円でした。)

この本でも繰り返し伝えてきたように、人を元気にしてくれるのは、生きた大地からできる、生きた命をたくさん蓄えた食べ物です。化学肥料、農薬で土の命を奪ってしまった後の、死にかけた大地からできた作物ではできません。このままでは、命の原点である農地も、その農地を守る人がいなくなってしまう。

農薬も化学肥料も使わないで、生きた大地、生きた食べ物を育てる百姓を一人でも多く世に送り出さねばならない。そのためにはどうしたらよいか？(中略)それならば、と私は、何人かの人と相談をして、「私が20年かけてやっとできた**循環農法**を教える学校をつくろう」と思い立ちました。

「すべてが自然のまま循環しているユートピアをつくろう」という夢です。

そこでの暮らしのイメージを少しお話します。午前中はみんな畑に出て農作業をして、作物の世話をします。お昼に、いのちの詰まった食事をいただいて、午後はそれぞれの人が自分の好きなことをして過ごします。

私のように畑が好きで好きでたまらない人間は、午後も畑で野菜たちの声を聞きながら農作業をしてもいいですし、絵の好きな人は絵をかき、詩や小説を書く人もいれば、散歩をして過ごしたり、編み物をしたり、何でも自由に行動してもよいのです。

こんな、ユートピアが早くできたらいいですね。

●流通業界によって作り出された価値基準ではなく、本物の野菜、つまり皆さんの体を健康にしてくれる野菜の価値基準をあげておきます。

1. 旬の野菜であること。
2. 完全無農薬、無科学肥料でできたもの。
3. 見かけも良くて味があり、それぞれの野菜が持っている匂いがすること。
4. 微妙な甘さがあること。
5. 形はその野菜が持っている自然な形であること。
6. 大きい形、小さい形、いろいろな形の混じっていること。

消費者の皆さんが本物を知り、求め続けてくれたら農家は変わります。

今でも農家は、流通が作り出した価値基準を追い求めて、自分たちの身の危険もかえり見ず、農薬をかけ化学肥料を使って、見せかけだけの、体に危険な作物を作っているのですから。

イスラエルの赤い宝石「ドナリエラ」愛の一粒運動実施中！！

(株)日健総本社 兵庫特約店

(有)クロスタニンひまわり

☎ 0120-42-8198